2020/7/31

(うとQ ブログ それって new normal なの?)

現コロナ禍。

駅傍繁華街一等地。

好立地だったお店ほど苦境に立たされている。

ネットを駆使した予約システム等、超効率化による大量集客だった飲食店ほど、同じく苦境に陥っている。

その対策として、客席を持たないキッチンスタジオで調理をし、成る丈非接触のテイクアウトか宅配をするようになりつつある。

そうしてこれを飲食業界の「new normal」とメディアは書き立てておりますが「またいい加減な事を」と思ってしまう。

一番目の話はともかく、二番目と三番目はコロナ禍前もコロナ禍後も、完全にひとを「モノ」として扱っています。

もともと人間は外出したい、人と接したい、更には多分に構ってほしいという本能みたいなものを持っていますから、今の減少は一時的な回避行動で、いずれまた外出、対面接触は戻ってくる筈です。

ですので「new normal」と宣言するには今少し経過観察が必要なのに、大した検証もせずいとも簡単に宣言を囃子立てるのはどうなのでしょう？

なぜこのような事がまたぞろ起きるのか？

恐らく第二、第三の観点が相も変わらず「利益」というところからのみ見ているからだと思えます。

利益というのは人の満足の結果で後から付いてくるものだと思うのですが、先の二景は、またひとを利益獲得の「道具（モノ）」としてしか見ていない気がします。

それでは今までと何一つ変わっていません。

new normal？

いささか、おこがましい気がしております。